

ふれあい福祉相談

場所 ふくしの駅 (中央 3-13-5)

問い合わせ ふれあい福祉相談センター

☎ 22-8986 ※祝日は休みです。

相談内容	日	時間帯	
◎一般相談 (どんな相談でも)	毎週月～金曜	8:30～17:00	
◎ボランティア相談 (活動希望・援助依頼等)			
税金相談	毎月第1金曜	10:00～15:00	
◇不動産相談	毎月第3水曜		
◎障害児者相談	毎月第3木曜		
保険・年金相談	毎月第4水曜		
◎女性相談	毎月第4金曜		
*法律相談	毎月第2金曜		10:00～16:00

◎電話による相談も可。

◇12月は司法書士が応相談。

*法律相談は予約制。月初めから受付。

無料ででの相談は一人1回です。



高齢者総合相談

日時 毎週月～金曜日 8時30分～17時30分

※土・日曜日は要望により対応します

場所 ふくしの駅 (中央 3-13-5)

問い合わせ 地域包括支援センター

☎ 22-5494

いのちのホットライン竹原

場所 たけはらふれあい館

(中央二丁目 4-3) 9時～18時

※11/25は休館します。

問い合わせ いのちのホットライン竹原

☎ 22-9102

出張年金相談日

日時 10月10日(水) 10時～15時30分

場所 福祉会館2階会議室

問い合わせ 呉年金事務所

☎ 0823-22-1691

特設登記・人権相談所

日時 10月18日(木) 10時～12時、13時～15時

場所 人権センター

問い合わせ 広島法務局東広島支局 ☎ 082-423-7707

消費生活展「だまされないで!悪質商法」

高齢者の悪質商法被害が後を絶ちません。悪質商法には様々な手口があり、被害を防ぐには、その手口を知っておくことが重要です。悪質商法についてのパネル展示を行いますので、ぜひご覧ください。

日時 10月15日(月)～25日(木)

8時30分～17時

場所 市役所ロビー

問い合わせ 産業振興課商工振興係 ☎ 22-7745

行政相談週間 10月15日～21日

国の行政に関する苦情や意見・要望を解決するとともに、行政運営の改善につなげます。お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守ります。

竹原市行政相談委員

黒崎 耕二 (忠海中町 ☎ 26-0607)

行政相談委員による行政相談所の開設

日時 10月18日(木) 10時～15時

場所 人権センター1階会議室

問い合わせ 中国四国管区行政評価局

☎ 082-228-6173

消費生活相談室便り
～強引な布団の訪問販売に注意～

相談内容

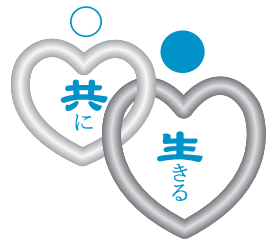
ある日、以前購入した布団店だと言って業者が訪ねてきた。気を許して自宅に上げたところ押し入れから次々と布団を出して、「新しいものと取り替えた方がいい」と強引に購入を勧めてきた。断れずに承諾してしまったが、以後同じ業者が何度も来て商品を勧め、もう200万円以上も買ってしまった。おかげで貯金がなくなり、必要のない寝具類で押し入れがいっぱいになって困っている。

アドバイス

解約に関しては、本人から契約当時の状況についてよく話を聞き、消費生活相談室などを交え事業者との交渉を行う方法などが考えられます。このような場合、本人が被害に遭ったことを恥ずかしい、また怖いと思いついで誰にも相談せず被害が拡大してしまうこともあるため、身近な人が様子を気にかけて、見守ることが大切です。ポイントとしては「家に見知らぬ人が出入りしていないか」「家に不要な物や契約書はないか」「本人の様子に不自然な点はないか」などが挙げられますが、普段から地域でコミュニケーションを深めておくことも重要です。

相談窓口 おかしいな、困ったなどと思ったら、

消費生活相談室にご相談ください。☎ 22-6965



みんなの助けあいで つながる生命

生命をつなぐ献血

みなさんは「献血」をしたことがありますか？

私たちの生命を維持するために欠くことのできない血液は、人工的につくることはできません。さらに血液は、生きた細胞であり長期保存することもできません。広島県では、毎日3000〜5000もの人が病気の治療などで定期的な輸血を必要とし、献血が多くの尊い生命を支えています。

献血の方法は、県内では常設の献血ルーム（広島市・福山市の2ヶ所）と県内を巡回する移動献血バスを利用する方法があり、竹原市では市民館などで、献血バスにより行っています。みなさんからご協力いただいた血液は広島県赤十字センターに集められ、安全上

の検査が行われた後、医療目的に応じた様々な血液製剤がつけられ、各医療機関へと供給されています。

400ml献血にご協力を！

私たち一人ひとりの血液は、たとえ血液型が同じでも微妙に違っていることを知っていますか？

複数の献血者からの血液をあわせて輸血をするほど、発熱などの副作用が発生する可能性が高くなります。このことから、400ml献血は200ml献血に比べて献血量が多く、少数の献血者からの輸血を可能にし、安全性の高い献血方法といえます。

輸血を受ける人への負担が軽い400ml献血に、みなさんの積極的なご協力をお願いします。

みんなで献血を支えよう！

輸血用血液製剤の約85%が50歳以上の患者さんに使われています。一方で、献血者の約78%は50歳未満であり、若い世代が高齢者医療の多くを支えているといえます。しかし、ここ数年で20代の献血者が著しく減少し、献血を支えていく上で大きな課題となっています。

献血は、献血する人の安全を第一に、国の基準により医師が総合的に判断しています。安心してご協力ください。

みなさんの助けあいの心と行動により、尊い大切な生命を未来へとつないでいきましょう。

問い合わせ

広島県赤十字血液センター

☎ 082-241-1248

まちづくり推進課生活環境係
☎ 22-7734

▼平成24年度竹原市内移動献血バス予定表

日程	時間	場所
平成24年10月20日（土）	10:00～12:00 13:00～15:30	市民館 （まひろちゃん献血）
平成24年12月26日（水）	10:00～12:00 13:00～15:00	市民館
平成25年2月10日（日）	10:00～12:00 13:00～15:30	バンブー公園 （まひろちゃん献血）
平成25年2月20日（水）	14:30～15:30	ふれあいステーション ただのうみ
平成25年3月29日（金）	10:00～12:00 13:00～15:00	市民館

男女共同参画ってなあに？



私たちは、長い間、「男子優先・優位」の制度やしきたりの中で暮らしてきました。人々はそれをなんとなく納得し、普通のことのように思われている部分もありますが、「男女平等」という視点からは多くの問題があり、「女性に対する暴力」などは深刻な社会問題となっています。

しかし、戦後民主主義が広く浸透し、また、多くの人たちの地道な努力により、これまでの男子優先社会が徐々に改善され、男女の差別のない社会が形成されつつあります。この男女の差別のない社会『男女が同等の立場で発言し、男女が同じように行動できる社会』がすなわち「男女共同参画社会」なのです。

問い合わせ たけはら男女共同参画社会づくり実行委員会（人権推進室内） ☎ 22-3726

市民人権標語

小学生の作品

ありがとう いつも心に 感しゃの気持ち